

守山まるごと活性化計画 学区別会議実施記録 第5回

1. 実施概要

学区・回	守山学区 第5回
日時	2013年11月14日(木) 19:30~21:30
会場	守山会館
参加者	住民20人(今宿1人、泉町1人、本町1人、梅田町2人、勝部2人、焰魔堂1人、千代1人、阿村1人、伊勢2人、二町2人、古高1人、大門1人、横江1人、弥生の里1人、大鳥1人、サムズ守山1人) 守山市(竹村、高橋、坪内、足立) 地域未来研究所(田淵、貞松、前田)
会場設営	前半は自由席。後半は4テーブルを配置、重点プロジェクト毎に希望するテーブルに着席
実施経過	<p>1. 挨拶</p> <p>①開会挨拶(坪内課長補佐)</p> <p>②開会挨拶(千代学区長)</p> <p>2. 説明と重点プロジェクトの投票およびまちづくりテーマ案の選択</p> <p>①本日のプログラム内容(田淵)</p> <p>②第4回検討結果の説明(田淵)</p> <p>③プロジェクトの絞り込みとまちづくりテーマ案の選択(投票)</p> <p>■選択された「重点プロジェクト」</p> <p>→ ①自治会魅力向上プロジェクト</p> <p>→ ②守山の歴史・伝統文化再発見プロジェクト</p> <p>→ ③JR東側活性化プロジェクト</p> <p>→ ④水とホテルから輝くプロジェクト</p> <p>■選択された「まちづくりのテーマ」</p> <p>→ 人がつながり、自然と歴史を大切にすまち</p> <p>3. 重点プロジェクトの掘り下げと実現化方策についての意見交換(テーブル別ワーク)</p> <p>【主な意見】</p> <p>■自治会魅力向上プロジェクト</p> <p>・「人がつながり子育て応援プロジェクト」と「安全・安心の住みやすさ日本プロジェクト」は本プロジェクトの中でできそうなので、一緒に取り組む。</p>

- ・新住民を含め誰もが参加できる自治会を目指すため、まずは地元で「自治会を考える会」、を設立し、今後の自治会のあり方や活動内容について考える。
- ・新住民を巻き込むためには、親を巻き込む工夫が必要となるので、地域の大人と子どもと一緒に遊べる場所づくりを自治会館でフォローする親同士のつながりをつくる。
- ・行政は広報等配布物の配布方法の見直しなど、自治会への依頼業務を整理するなど、全面支援を行う。

■守山の歴史・伝統文化再発見プロジェクト

- ・まずは地元住民が学区の歴史や伝統文化について知る努力をする。
- ・伊勢遺跡の活用については、伊勢遺跡の復元やアクセス道路の整備を含む伊勢遺跡周辺の区画整理事業を行政で早急に進める。
- ・伊勢遺跡をはじめとする遺跡には観光バスで来訪者があるが、ピンポイントの観光で終わっている。また、祭などはイベントで終わっているため、歴史遺産の常設展示場所がない。エルセンター等を活用した常設展示を行い、全国に発信するなど工夫が必要。
- ・中山道周辺の古民家を残していく制度が必要。

■J R東側活性化プロジェクト

- ・J Rで学区が分断されており、東側から守山会館などの公共施設に行くことが難しい。地域の交流拠点や学習拠点となる守山会館分室を開設し、将来的には学区の再編成が必要である。
- ・地元でできることとしては、地域に多くある地元工場と連携した防災訓練等のまちづくりの取組み行う。

■水とホタルから輝くプロジェクトなど

- ・ホタルの生態を考えた自治会での草刈りや河川清掃などの活動時期の調整や、小学校や子ども会でホタルの生態を学習し、ホタルを通じてゴミを捨てない動機付けをするための「ホタルール」を作成し、広く発信する。
- ・H25. 7. 1 のホタル条例改正で、市内全域の河川がホタル保護区になったが、あまり知られていない。何のために条例化しているのかわからないので、行政で再PRを行ってはどうか

4. 結果の発表・共有

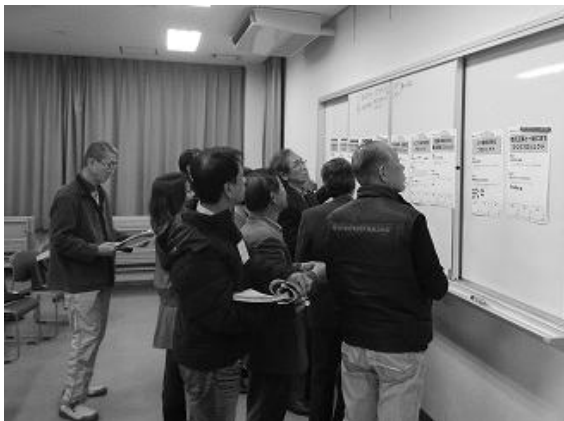
- ・テーブル毎に参加者の代表が学区の重点プロジェクトの取組や役割分担について

協議内容を発表し、共有化した。

5. その他

- ・学区別会議は今回で一旦終了。12月～1月頃に全体会議・活性化プラン（素案）の完成。2月頃に活性化プラン（素案）を地域で説明。3月に活性化プランの完成という予定で進めることとなった。

第5回守山学区会議の様子



2. 第5回学区会議の意見まとめ

守山学区のまちづくりのテーマおよび重点プロジェクトの投票結果、検討内容をまとめた。

<守山学区のまちづくりのテーマの投票結果>

- ① 守山に住んで良かったと言われる『人』がつながるまちづくり
- ② 住みやすさ日本一を目指す『人』が主役のまち 守山
- ③ ”歴史・ホテル・水”が輝く、“人”が輝く 守山
- ④ 伊勢遺跡と中山道をつなぎ、東西が一体化したまち 守山

新規案 人がつながり、自然と歴史を大切にすまち

これを採用

注) 伊勢遺跡という固有名詞をテーマに入れたいという意見と、固有名詞よりも「人のつながり」「絆」が大切ではないかという意見が出て、議論が白熱し、新規案が提案された。また、必ずしもひとつの案に絞らなくてもいいのではないかという意見が出た。最終的に、①から③のまちづくり全体を表すテーマに④の固有名詞を盛り込む案と、ベーシックな新規案で投票を行い、9対13で新規案が選ばれた。

<重点プロジェクトの投票結果>

プロジェクト名	投票結果(票数)			採否
	必要性	興味	合計	
① 自治会魅力向上プロジェクト	17	21	38	○
② 守山の歴史・伝統文化再発見プロジェクト	14	14	28	○
③ JR東側活性化プロジェクト	13	8	21	○
④ 水とホテルから輝くプロジェクト	9	11	20	○
⑤ 人がつなぐ子育て応援プロジェクト	8	4	12	○
⑥ 安心・安全の住みやすさ日本一プロジェクト	9	1	10	○
⑦ シニアの底力活用プロジェクト	4	5	9	
⑧ 地元工業と一緒にまちづくりプロジェクト	1	7	8	
⑨ 子どもたちへの語り部プロジェクト	2	4	6	
⑩ 全国に発信できる食の創造プロジェクト	0	2	2	

これらを重点プロジェクト化

※投票は、各人「地域のまちづくりに必要と思われるもの」3票、「自分自身に興味があり取り組んでみたいもの」3票の合計6票を持ち、各プロジェクトに投票してもらった。(一つのプロジェクトに複数投票可)

※「人がつなぐ子育て応援プロジェクト」「安心・安全の住みやすさ日本一プロジェクト」については、自治会魅力向上プロジェクトの中で、一緒に取り組めそうなので、含むこととする。

2.1 守山学区のまちづくりプロジェクトに対する個別意見・実施に向けての役割分担など

プロジェクト名	取組	意見
①自治会魅力向上プロジェクト（「人がつなぐ子育て応援プロジェクト」と「安全・安心の住みやすさ日本プロジェクト」は本プロジェクトの中でできそうなので、一緒に取り組む。）	■取組 1 誰もが参加できる自治会への運営・体制の見直し	【意見】 ●自治会を良くしようという意識を高める。 ●役員のなり手不足、新住民の自治会への関心不足が大きな問題。 【役割分担】 ● 地元でできること ・自治会を考える会を設立することから始める。 ● 行政等にサポートを求めること ・広報等配布物の配布方法の見直しなど、自治会への依頼業務を整理。 ・他自治会の事例提供など自治会活動の見直しへの全面支援を行う。
	■取組 2 地域による子育て応援（寺子屋の復活）	【意見】 ●子どもの教育の時から何かをしかけるべき。親の教育が必要。 【役割分担】 ● 地元でできること ・親を巻き込む工夫、親同士のつながりをつくる。 ・地域の大人と子どもと一緒に遊べる場所づくりを自治会館でフォローする。
	■取組 3 安全・安心活動の強化（住民によるセーフティネットの構築）	【意見】 ●災害時も平常時も自助が大切。

プロジェクト名	取組	意見
②守山の歴史・伝統文化再 発見プロジェクト	■取組 1 伊勢遺跡を活用した観光活性化	【意見】 ●単なる観光では終わらせず、活性化のため「文化学習のまち」として誇りを持てるまちにする。 ●現状では、観光資源として整備されていない。 ●市内の学校で地元の歴史を学習する必要がある。 【役割分担】 ● 地元でできること ・まずは地元住民が学区の歴史や伝統文化を知る努力をする。 ・区画整理の全面協力は必要。 ● 行政等にサポートを求めること ・伊勢遺跡の復元し、アクセス道路の整備を含む伊勢遺跡周辺の区画整理事業を実施。
	■取組 2 歴史資産や伝統行事の活用・PR	【意見】 ●伊勢遺跡をはじめとする遺跡には観光バスで来訪者があるが、ピンポイントの観光で終わっている。 ●祭などはイベントで終わり、歴史遺産の常設展示場所がない。 ●中山道周辺の古民家を残していく工夫が必要。 【役割分担】 ● 地元でできること ・エルセンター等を活用した常設展示を行い、全国に発信する。 ● 行政等にサポートを求めること ・観光客を誘致するには、周辺自治体との一体的なPRが必要。 ・古民家を残す制度・仕組みを整備。
	■取組 3 中山道案内ボランティアの向上	【意見】 ●中山道だけでなく、学区の地域の資源を説明できる人を養成してはどうか。

プロジェクト名	取組	意見
③ J R 東側活性化プロジェクト	<p>■取組 1 活動拠点の整備</p> <p>■取組 2 地元工業と連携したまちづくりの実施</p> <p>■取組 3 学区の再編成</p>	<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● J R で学区が分断されており、東側から守山会館などの公共施設に行くことが難しい。 ● 将来的には学区の再編成が必要。 <p>【役割分担】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地元でできること <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元工場と連携した防災訓練等のまちづくりの取組み実施。 ● 行政等にサポートを求めること <ul style="list-style-type: none"> ・ 学区の再編成 ・ 地域の交流拠点や学習拠点となる守山会館分室を開設。
④ 水とホタルから輝くプロジェクト	<p>■取組 1 水とホタルを中心としたコミュニケーション活動</p> <p>■取組 2 「ホタルール」の作成</p> <p>■取組 3 ホタル条例の改正の再 P R</p>	<p>【意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ホタルが土手にいる時期の土手の草刈りを避けている自治体もある。 ● H25. 7. 1 にホタル条例が改正され、市内全域の河川がホタル保護区になったが、あまり知られていないのでは、何のために条例化しているのかわからない。 <p>【役割分担】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地元でできること <ul style="list-style-type: none"> ・ 草刈りや河川清掃などの自治会での活動時期を調整する。 ・ 小学校や子ども会でホタルの生態を学習し、ホタルを通じてゴミを捨てない動機付けをする。 ・ ホタルの森資料館の協力を得て、上記の内容を盛り込んだ「ホタルール」を作成し、広く発信する。 ● 行政等にサポートを求めること <ul style="list-style-type: none"> ・ ホタル条例の改定について再 P R を行う。 ・ コンクリート護岸をできるだけやめる。